

若手女性農業者の育成

1 活動の背景

活動対象:たいせつ農業さくら塾生9名(美瑛町6名、東川町2名、東神楽町1名)

女性農業者の多くは、農業技術習得の場が少ない。そこで、2カ年で女性農業者が楽しみながら農業の基礎技術を学べる「たいせつ農業さくら塾」を開講した。本年は2年目になり、病虫害防除と経営分析に向けた経営管理の基礎技術の習得とその活用を狙いとした

農業基礎の技術力アップ、経営の管理能力の向上を目指して!

2 活動の経過

今年度は開講2年目となり、座学や現地視察をとおして、共に農業経営に参画していく仲間づくりの貴重な機会となった。

実施日	出席者数:塾生(普及員+関係機関)	内容	
6/22	4 (7)	作況の説明	自己紹介、病虫害の防除①
7/20	4 (8)		病虫害の防除②
10/26	3 (7)	午前:経営分析を目指した農業複式簿記 午後:現地視察(トマト施設)及び講話	
11/16	5 (7)	経営所得安定対策	
12/14	4 (4)	米、麦、てんさいの精算及び国とJAの施策	

トマト栽培における病虫害防除の考え方を学んで



北海道指導農業士 柏倉氏 トマト施設での現地視察



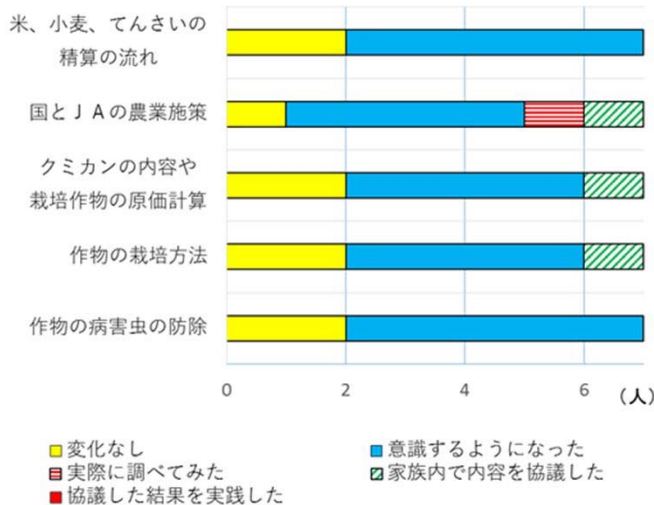
黄ゲタ、緑ゲタがわかりますか?

経営管理支援「経営所得安定対策の理解を進めよう」

さくら塾生の意識変化等

3 活動の成果

塾生へのアンケートでは、作物の病虫害の防除に「意識するようになった」と5名が回答し、家族の会話に入って行きやすくなったと感想が聞かれた。また、国とJAの農業政策では「実際に調べてみた」、「家庭内で内容を協議した」と回答した塾生が2名いた。この2名はクミカンの整理を進め、決算書の作成後、所得率を把握することができた。



4 今後の活動

~さらなる、女性農業者の経営参画のために~

- 「意識するようになった」塾生5名を含め、新さくら塾生の募集を行い、
- ①施肥や土づくり技術の取組みへの理解を促す。
- ②経営分析のためのクミカンを活用した経営管理支援を進める。